



子どもの生きにくさをジブリからアプローチする

1950年から子どもの自殺率は上昇傾向にあり、特に2010年からは際立っている。
 2017年には全体自殺者数自体は2000年に比べ3分の2に減少しているにも拘わらず、
 十代前半の自殺者数は100人にも上り、自殺率は最多となった。
 今を生きる思春期の子どもたちは、一体何に苦しみ命を絶つのだろうか。
 思春期がもたらすものをスタジオジブリアニメーション『となりのトトロ』と共に
 生きるために必要な「一体感」という視点から考える。

●講師紹介

岩宮恵子 氏

聖心女子大学文学部心理学科卒業後、鳥取大学医学部精神科での臨床を経て、
 現在、島根大学人間科学部心理コース教授、島根大学こころとそだちの相談センター長。
 専攻は臨床心理学。臨床心理士、公認心理師。

相談センターでの相談業務の他、スクールカウンセラー事業開始時より、現在も継続的に学校に関わり続けている。小説、漫画、アニメなどの深読みが趣味。

《主な著書》

『生きにくい子どもたちーカウンセリング日誌からー』（岩波現代文庫）

『フツーの子の思春期ー心理療法の現場からー』（岩波書店）

『好きなものにはワケがあるー宮崎アニメと思春期のこころー』（ちくまプリマー新書）

『思春期をめぐる冒険ー心理療法と村上春樹の世界ー増補版』（創元社）

●宮崎自殺防止センターについて

自殺防止センターは国際ビフレンダーズに加入するボランティア団体として、いつでもどこでも、自殺を考えている人々、苦悩状態にある人々に、感情面での支えを提供することを目的とした団体です。

また、広く自殺に関する事項について社会一般に周知を図り、その防止に努めることを目的としています。

相談電話 **0985-77-9090**

日 月 水 金 20時～23時まで〈相談無料〉

- ・秘密は厳守します
- ・お名前は匿名でもかまいません

●相談員ボランティア募集

わたしたちと共に電話相談員をしませんか？

興味のある方は、**0985-77-9111** まで

(20時から22時 日・月・水・金)

留守電になっている場合、電話番号などメッセージを残してください。

募集要項の詳細はこちら▶

